



# No. 412

2024年9月1日

発行 日本労働組合総連合会山口県連合会  
〒753-0078 山口市緑町3-29 労福協会館3F  
TEL 083-932-1123 FAX 083-932-1131  
Eメール: rengo-yamaguchi@rengo-y.com

発行人 中元直樹  
編集人 倉重里加

## 広報

# 連合山口

<https://rengo-y.com>

平成7年5月22日第3種郵便物承認 毎月1日発行 購読料1部15円(組合費を含む)

## 2024地区会議代表・事務局長会議を開催



▲挨拶をする伊藤会長

連合山口は、7月29日(月)山口市において「2024地区会議代表・事務局長会議」を開催し、各地区会議代表・事務局長など29名が参加しました。

冒頭、伊藤会長は「私たちを取り巻く環境は大きく変化している。労働組合の組織率の低下や組合役員のなり手不足、混迷する政治情勢など多くの課題がある。連合は今こそ、労働組合の必要性や価値を発信していかなければならない。すべての課題をすぐに解決することは難しいが、大切なのはあきらめ

ずに努力をしていくこと。本会議が連合山口として、一致団結するきっかけになるよう、しっかりとご議論いただきたい」と挨拶しました。

続いて、地協や地区会議の活動について、地協事務局長より報告を行いました。その後、岡崎副事務局長が討論テーマについて提起を行い、2つのグループに分かれ分散討論を行いました。分散会では、組織拡大や政策など多くのご意見をいただいたほ

か、広報活動の取り組みについて、単組の公式ラインでの情報発信や組合行事への参加を募るなど、有効に活用できている事例についても共有することができました。

最後に中元事務局長から、「論議の中で予算、政策、メーデーなど多くのご意見をいただいた。連合山口の活動には地協、地区会議の活動は欠かすことはできないと考えている。引き続き、皆さんには、より一層のご協力をお願いしたい」と総括を行い、会議を締めくくりました。

連合山口は、本日、いただいたご意見を踏まえ次年度の活動方針へ反映し、取り組みを進めてまいります。



▲分散会の様子

## 公示 連合山口第31回定期大会

開催日時 2024年10月31日(木)  
13時30分～17時30分

開催場所 かめ福オンプレイス  
山口市湯田温泉

議事内容

＜報告事項＞

- ・2024年度活動報告
- ・2024年度諸会計決算報告、同監査報告

＜審議事項＞

- ・第1号議案 2025年度活動方針(案)について
- ・第2号議案 2025年度諸会計予算(案)について
- ・第3号議案 表彰について



もくじ

p1 2024地区会議代表・事務局長会議、第31回定期大会公示

p2 青年委員会第27回リーダー研修会・2024労使トップセミナー・ワークルール検定

p3 2024平和行動in広島・長崎、キャラバン隊激励集会

p4 東部地協だより・労働相談事業

# 青年委員会第27回リーダー研修会を開催



## ▲挨拶をする田中委員長

連合山口青年委員会は、7月27日(土)から1泊2日の日程で、山口市において「第27回リーダー研修会」を開催しました。5年ぶりに宿泊・懇親会を企画しての開催となり、県内各地区から28名が参加しました。

はじめに、田中青年委員長が「本研修では労働組合の基本的な知識、連合山口の活動紹介の講演を行う。皆さんは各単組の組合員であると同時に、連合山口にも属している。“労働組合”って何なのか、連合山口って何をし

ているのか、基本的なところから知っていただきたい」と述べました。

アイスブレイクでグループ分けを行ったのち、「労働組合とは、連合山口活動紹介」と題して青年担当の港副事務局長から説明を受け、田中青年委員長からは「連合山口青年委員会の活動紹介」を行いました。中国労働金庫井本代理を講師に迎えた「ライフプランセミナー」では、これからの人生・お金について学びました。1日目の最後に懇親会を実施し、出席者の交流を深めました。

2日目は、「組合離れ・組合活動



## ▲参加者の皆さん

参画離れ」をテーマに、グループディスカッションを行いました。各グループでは真剣にテーマについて話し合っていました。

最後に、グループ発表を行い、2日間の成果を報告しました。参加者からは、「いろいろな業種の方の意見を聞いて良かった」「日頃聞けない話が聞けたので良かった」などの声をいただきました。

# 2024労使トップセミナーを開催



## ▲講演の様子

山口県労使雇用対策協議会は、7月29日(月)に「2024労使トップセミナー」を開催し、連合山口や経営者団体などから総勢144名が出席しました。講師には、時事通信社経済部長の川村豊氏を迎え「日本経済の展望」について、これまでの取材経験をもとにご講演いただきました。

川村氏からは、「今後の日本経済を展望する上では、FRBの金融政策やアメリカ大統領選挙の

動向に注目していかなければならない。また、賃金と物価の好循環については、短期的には実現する可能性が高いと考えているが、長期的に継続していくかについては不透明な状況である。賃金と物価の好循環を長期にわたり実現するには、人口減少対策や民間投資の活性化など、様々な対応が必要となってくる」と経済情勢や今後の見通しなどについて、ご説明いただきました。

山口県労使雇用対策協議会は、これまで雇用の維持・確保のための活動を行い、雇用の安定を図ることを目的としてきましたが、今般の人手不足等、社会情

勢が変化していることから、今後は「山口県労使協議会」へ名称を変更し、雇用の維持と人材の確保に加え、県内経済の発展に寄与することを目的に取り組みを行います。連合山口も、引き続き労使で連携し諸課題に対応していけるよう、積極的に取り組んでまいります。

## ワークルール検定に挑戦!

働きやすい職場を作るために、ワークルールの知識は欠かせません。スキマ時間でチャレンジしてください!

Q 次のうち、日本の労働保険制度の組み合わせとして正しいものをひとつ選びなさい。

1. 雇用保険・労災保険
2. 年金保険・労災保険
3. 健康保険・年金保険
4. 雇用保険・健康保険

解答は4ページに記載しています。

# 連合2024平和行動

～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で、核兵器廃絶と恒久平和の実現をしよう～

## ■連合2024平和ヒロシマ集会



### ▲高校生平和大使による報告

連合は、8月5日(月)広島市の上野学園ホールにおいて、被爆79年「連合2024平和ヒロシマ集会」を開催し、全国から1,780名の組合員が結集、連合山口からも産別・地協から37名が参加しました。集会では、芳野連合会長をはじめ、大野連合広島会長、広島県副知事や広島市の代表、ITUCのトリアングル書記長からご挨拶を受けた後に、「被爆80年に向けてー被爆地広島課題と役割」と題した講演を中国新聞社の宮崎智三特別論説委員より拝聴しました。

続いて、広島県原爆被害者団体協議会の箕牧智之氏から、自らの被爆体験証言や、被団協の活動紹介などがありました。若者からのメッセージとして、高校生平和大使6名が「ビリョクだけどもリョクじゃない!」と題し、国連での活動報告や高校生1万人署名の取り組み、平和への願いについて「知る!だけじゃ何も変わらない、知って動くことが大切」と熱く語りました。その後、「ヒロシマからの平和アピール」を採択、参加者全員で世界の恒久平和を願いながら集会を閉幕しました。

## ■連合2024平和ナガサキ集会

8月8日(木)、長崎県立総合体育館にて「被爆79年 連合2024平和ナガサキ集会」が開催され、全体で約2,000名、連合山口から14名が参加しました。芳野連合会長および来賓挨拶ののち、被爆者の訴えと、長崎大学核兵器廃絶センター吉田センター長による「地球の健康/人間の健康、



### ▲芳野会長挨拶

そして核廃絶」についての講演、若者からのメッセージが行われました。最後に、連合長崎から連合北海道へピースフラッグリレーののち、「For The Peace of World」の曲を全員で合唱し、平和への思いを新たにしました。



### ▲連合山口から参加の皆さん

## 連合広島・長崎 平和キャラバン隊 山口激励集会



### ▲伊藤会長激励挨拶

連合山口は、8月7日(水)山口県庁にて、広島から長崎までの行程で核兵器廃絶を訴える連合広島平和キャラバン隊の激励集会を開催し、連合山口構成組織、山口県から約50名が出席しました。冒頭、伊藤会長は挨拶で「戦後79年が経過し、悲惨な戦争体験が風化しつつある中、次世代を担う若い人々に、戦争の恐ろしさや核兵器の無差別な破壊力、そして平和の尊さを伝えることが非常に重要となっている。キャ

ラバン隊の活動が、平和への意識を高めるきっかけになると信じている」と激励しました。続いて田中青年委員長が、千羽鶴をキャラバン隊に手交し、「連合山口青年委員会も、世界の恒久平和と核兵器の廃絶に向け、連合広島とも連携をしながら取り組んでいきたい」と連帯の挨拶を述べました。これを受け、キャラバン隊代表の連合広島大田垣副事務局長は「8月5日に平和行動in広島が開催され、すべての



### ▲平和キャラバン隊の皆さん

核兵器を無くし、平和な世界を築く決意を新たにしたところである。私たちキャラバン隊5名は、山口に続いて福岡でも街宣を行う。次世代への継承のため、『ノーモアヒロシマ・ノーモアナガサキ』を強く発信していきたい」と決意を述べました。終わりには、山口県環境生活部中谷部次長からもご挨拶をいただきました。

集会終了後、長崎に向けて出発するキャラバン隊を、参加者全員で見送りました。

# 地協便り

～ 東部地協一体感醸成行事・工場見学を実施 ～

東部地域協議会から



▲日本製紙(株)岩国工場を見学

東部地域協議会は、地協内の一体感を高める取り組みとして、毎年、子どもたちの夏休みの時期に合わせて趣向を凝らした行事を行っています。

今年度については、8月2日(金)に日本製紙労働組合岩国支部の取り計らいにより、紙製品の製造を行っている日本製紙株式会社岩国工場の工場見学を実施することができました。

当日は、日本製紙の組合役員の皆さんに工場案内をしていた

だきながら、紙の原料となるチップヤードや紙を作り出す迫力ある製造ラインなどを見学することができ、私たちの仕事

や暮らしに欠かすことのできない様々な紙製品がどうやって出来上がるのか、子どもたちと一緒に学ぶことができました。

その後、岩国市防災学習館を訪れ、洪水や高潮、土砂災害などの恐ろしさを立体的な映像で見ることでできる防災シアターで知識を学んだり、実際の火災のように煙が充満した空間からの避難体験や、訓練用の消火器を使った火災の消火体験などの多くの災害の疑似体験をしまし



▲火災消火体験

た。こうした防災学習館での様々な体験を通じて、災害の恐ろしさを身をもって感じる事ができ、いつ起こるか分からない災害に備えることの大切さについて家族で学習することができました。

東部地域協議会として、これからも家族の夏休みの思い出に残るような行事を計画していきたいと思えます。

— 東部地協：久富事務局長 —

## 労働相談事案コーナー

### 【相談内容】

相談者：30代女性（正社員）

2か月前から正社員として従業員4名程度の会社で働いている。この間、社長から暴言を吐かれることが続き、恐怖を感じている。このまま仕事を続けるのは心理的な負担が大きいので、会社を辞めたいと考えているが、何を言われるかわからないため、退職を伝える勇気がない。どうしたらこの状況を変えることができるのか。

### 回答

暴言などがあった場合には、今後の対応のため記録をとっておくことを勧めた。労働者には退職の自由（無期雇用の場合）があるため、法律上は退職の申し入れから2週間で雇用契約が終了する（民法627条）ことを伝えるとともに、退職を申し出る時は、「退職願」ではなく「退職届」とすることを伝えた。

就業規則がある場合は、規則に沿った手続きを行った方がより円満に退職できる可能性がある。直接退職の意思を伝えるのが難しい、伝えても辞めさせてもらえない場合には、内容証明郵便を利用して退職の意思表示をすることも有効な手段であると伝えた。

## ワークルール検定に挑戦! 解答

A

解答 ①

日本には、健康保険・年金保険・雇用保険・労災保険・介護保険の5つの社会保険があり、そのうち雇用保険と労災保険を総称して労働保険といっています。



働くみんなの連合サポート

# ワーク Wor-Q

"0" Support System for All Workers by RENGO

アクセスは  
こちら



地協連絡先

### ● 県央地域協議会

〒745-0045 周南市徳山港町1-1 旧周南市役所港町庁舎2階  
TEL: 0834 (21) 0768 FAX: 0834 (21) 0290

### ● 東部地域協議会

〒740-0013 岩国市桂町2-6-1 こども館内  
TEL: 0827 (22) 0160 FAX: 0827 (22) 0161

### ● 西部地域協議会

〒750-0001 下関市幸町8-16 下関市勤労福祉会館内  
TEL: 083 (222) 0869 FAX: 083 (223) 9428

### ● 中部地域協議会

〒753-0078 山口市緑町3-29 労協会館3階  
TEL: 083 (902) 1811 FAX: 083 (932) 1131

[連合山口QRコード]



連合山口 検索

<https://rengo-y.com>